

# 暮らしと森林の共生

「格好のいい話はだれでもするがそこで生活するわけですからきれいごとばかりではありません」。全国から約三百人が参加して三重県名張市で九月十四日から十八日まで開かれた全国雑木林会議を主催した伊賀野雄二さん(五十)はこれまでの取り組みを振り返った。

伊賀野さんは鳥取県若狭町の出身。山や立ち木を買い取るナショナルトラスト運動で、名張市に持ち上がったゴルフ場建設を中止に追い込んだ。現在はゴルフ場になるはずだった里山を舞台に利活用をキーワードとしたさまざまな取り組みを展開している。

鳥取、鳥根両県からも森林保全に取り組む広葉樹文化協会会長の岸本潤二さん(五十)鳥取市や、今年十一月に鳥取市でナショナルトラスト全国会議を開催する鳥取県岩美町のNPO法人「岩美自然学校」代表の沢健一さん(五十)岩美町、来年の15回大会を大森銀山(大田市)で開催するNPO法人「緑と水の連絡会議」事務局長の和田譲二さん(五十)らが参加した。

ボランティアで森林環境を守る人たちの集まりだけにその思いは熱い。当時、三重県には今年最大級の台風18号が近づいていたが、会場には夜

ずだった里山を舞台に利活用をキーワードとしたさまざまな取り組みを展開している。

## 雑木林会議には森林保全

遅くまで森林保全に力を入れる。山の手入れなど森林保全活動が事業として成り立つ可能性を探ってきた。

十四年間の取り組みを振り返って伊賀野さんは「税金や奨学金に頼らない新しい形の事業型里山保全をどう進めていくかが課題」という。

今年四月に山陰両県の森林

遅くまで森林保全に力を入れる。山の手入れなど森林保全活動が事業として成り立つ可能性を探ってきた。

大会が開かれたのは、十四年前に伊賀野さんがゴルフ場計画に反対して山林を買い取り建設した「エコリゾート赤目の森」という宿泊施設と後の里山。十四回を迎えた大会がこれまでと違うのは、さまざまな里山の利活用をビジネスモデルとしてとらえ、事業型里山保全に焦点を当てた点だった。

伊賀野さんは宿泊事業をベースに、デザインサービス、ベレット生産、環境学習、エコツーリズム、癒やし音楽療法、まちづくり、ミツバチ蜂蜜

遅くまで森林保全に力を入れる。山の手入れなど森林保全活動が事業として成り立つ可能性を探ってきた。

その昔、伊賀野さんは赤目の山で修行し、里山や雑木林の魅力を最大限に引き出し、そのすべてを利用し、社会で特異な存在として注目を集めた。科学万能の世の中だが、森林環境を守るこうした地道な取り組みが近い将来に社会から注目される日が来ることを信じていた。

その昔、伊賀野さんは赤目の山で修行し、里山や雑木林の魅力を最大限に引き出し、そのすべてを利用し、社会で特異な存在として注目を集めた。科学万能の世の中だが、森林環境を守るこうした地道な取り組みが近い将来に社会から注目される日が来ることを信じていた。



全国から約300人が参加して開かれた全国雑木林会議のオープニングセレモニー



全国雑木林会議では森林保全に関するさまざまな取り組みが行われた



保全を目的にボランティア団体などが参加し結成された「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」の事務局を務める山陰合同銀行地域振興部の森下義雄さん(左)は「素晴らしい森林環境は失ってしまえば取り返しがつかない。環境保全は行政がやるべきだが、民間でもできる企業ができることから始めないと間に合わない」と危機感を募らせる。

# 利活用で成り立つ保全の形目指して

「格好のいい話はだれでもするがそこで生活するわけですからきれいごとばかりではありません」。全国から約三百人が参加して三重県名張市で九月十四日から十八日まで開かれた全国雑木林会議を主催した伊賀野雄二さん(五十)はこれまでの取り組みを振り返った。



山陰の間伐材を利用した紙容器入りドリンクプレゼント

連載しています特集・広告に関するご意見を郵便またはFAXで募集しています。抽選で20名様に「間伐材を利用した紙容器入りの飲料」(提供:ポッカコーポレーション/250ml入り・24本)をプレゼントします。ご意見をお送りいただく際にお名前、郵便番号、ご住所をご記入ください。締め切りは11月30日消印有効。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用させていただきます。〒690-0062 松江市魚町10 山陰合同銀行地域振興部内 「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」プレゼント係 TEL:0852-55-1820 FAX:0852-28-0495

山陰両県の森林保全などに取り組むNPOなどが参加して「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」が設立されました。新日本海新聞社は活動の趣旨に賛同して同ネットワーク会議などの協力で森林保全の輪を広げる企画を来年3月まで随時掲載します。

## 子供も大人も「遊び」を通じてここならではの自然の豊かさを実感してほしい。



## 豊かな緑を子どもたちの未来へ! 森林を守ろう!山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

旧石器、縄文、弥生などの時代の遺跡がこの島根県益田市匹見町。中国地方の中央に位置するこの町は、山陽地方と山陰地方の気候が入り交じっているため、木の種類が豊富で、動物も数多くすんでいます。

ここを舞台に、広島や益田の市街地に住む人々との交流を願って6年前に発足したグループが「遊木民倶楽部(ゆうぼくみんくらぶ)」。

「地元の木工関連業者だけでなく、みんなでワイワイするのが重要。これまで植樹や間伐だけでなく、雪合戦なども企画しました。今回は、木の建物の良さを体感してもらうために、江戸時代から続く旧家でコンサートを開きました。誰とでもジョイントしたいので、型にはまらず、マイペースでイベントのアイデアを練ってます。」

会長の大島さんは、笑顔をふりまきながら語ってくださいました。

1. コンサートは、益田市の道の駅「匹見映」のそばにある旧家「美濃地屋敷」の庭で行われました。
2. 母屋では、琵琶(びわ)法師による平家物語の演奏も行われました。
3. 荷台に乗っているのは移動式のピザ釜。地元の職人がつくった炭でピザが焼かれていました。
4. 普段は近くにある「遊木の里」を拠点に活動しています。

今回の森林保全活動レポートその⑫に登場する

**遊木民倶楽部**

環境保全や地域活性化を「遊び」を通じて学んでいくとともに、人の「癒(い)やし」を求める活動を展開。様々なイベントの他に、小学生対象の総合学習、野鳥の森づくり、キノコ狩りなども行っています。お問い合わせは同倶楽部の大島さんまで

〒698-1201 島根県益田市匹見町1465-1  
TEL&FAX 0856-22-1980  
(夜間および休日はFAXをご利用ください)

- 森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん (9月20日現在)**
- |   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| 鳥取県<br>NPO法人 賀露 おやじの会(鳥取市)<br>NPO法人 サカズネット(倉吉市)<br>NPO法人 とっとり希望化計画21(鳥取市)<br>広葉樹文化協会(鳥取市)<br>財団法人 南部町地域振興会(南部町)<br>杉の響・吟聴の会(智頭町)<br>大山横手道上ナを育成する会(米子市)<br>鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市) | 鳥取市女性の森グループ(鳥取市)<br>トリネット(米子市)<br>日野川の源流と流域を守る会(日野町)<br>丸山生産森林組合(伯耆町)<br>三朝温泉かじか蛙保存研究会(三朝町)<br>森っ子倶楽部(鳥取市)<br>鳥根県<br>出雲市林業振興協議会(出雲市)<br>NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市) | NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)<br>源流の森山づくり(邑南町)<br>財団法人 鳥根県西部山村振興財団(浜田市)<br>里山を育てる会(松江市)<br>しまねフォレスト・ネットワーク出雲(出雲市)<br>薪ストーブ同好会(松江市)<br>松江ネイチャーゲームの会(松江市)<br>木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク(松江市)<br>森の仲間(出雲市) | 遊木民倶楽部(益田市)<br>特別協賛<br>新日本海新聞社<br>山陰中央新報社<br>特別協力<br>凸版印刷株式会社 |
|---|---|--|---|
- この広告に関するお問い合わせは事務局まで
- 山陰合同銀行 地域振興部内  
島根県松江市魚町10 千690-0062  
TEL.0852-55-1820
- みんなで森林を守ろう!